

2009 Winter VOL.60



気象庁の発表によると今冬降雪量は平年より少ない見込み。1月晴れの日が多いが、気温は平年より低い。2月気温は平年並みか高め。雪の日多い。3月気温は平年より高め。予報士の話では先ず予測当たったためし無い!という。エッ!そんな……

アイセレモニー株式会社  
本社/営業本部・智の会・相談室・花環工房  
飯綱町黒川2415(飯綱ホールとなり)  
☎026-253-1377 FAX253-1378  
フリーダイヤル ☎0120-796-311

- アイセレモニー飯綱ホール(飯綱町黒川)
  - アイセレモニー五岳ホール(信濃町古間)
- アイの四季だより 発行・責任者/丸山哲一

「音楽会」と言うだけあって、ジャンルの幅が広い。合唱・混声合唱・歌とダンス・器楽合奏・手話歌・独唱・ハーモニカと尺八・リコーダー・オカリナ合奏・ソロピアノ・合唱などなど。このボリュームは世界一? 「今年は例年になく出演申込みが多くて、タイムスケジュールづくり



### ♪さようなら2008! ゆかいなむらの音楽会

飯綱町で第17回「ゆかいなむらの音楽会」が開かれました。観客はお子様連れのお母さんお父さん方で立ち見席まで満員、大盛況。に苦労したけどうれしかった」と、主催の田村会長さん。この不況下にあつて、むらの活性化に「役も二役も買っていらつしやいます。出演者は町内の小学生が3分の1を占めて多く、音楽を楽しむ感性の深さでしょうか。さらに出演者のネーミングの面白いこと。牟礼東小5年2組の「ROOKIES達」牟礼西小の「西っ子低学年チーム」・むれーめん音楽隊・東小ティーチャーズ・さよちゃんず・芸術屋本舗(牟礼)では知名度の高い笑劇団)など多彩。知的なユーモア満載で題名通り「ゆかいなむら」です。

# 感動 感激!

とき 2008 12月6日(土) 午前9時30分開演  
ところ 飯綱町民会館  
主催 飯綱コーラス  
後援 飯綱町 飯綱町教育委員会 飯綱町公民館 飯綱町文化協会

主催の飯綱コーラス会長/田村肇子(たむらちようこ)さんにお尋ねしました。このスケールの大きい音楽会開催を主催する「飯綱コーラス」発足のキッカケは? 「PTAコーラスをやってみてO.Bとなり、同窓会の延長線て今から24年前に立ち上げ、あちこちの体育館を回って、コーラスはピアノさえあれば。私たちの咽が楽器ですから」「最初のころクラシックコンサートにフランクフルトから演奏家たちが来て下さいまして感激しちゃって。この元気をいただいて続けています」ということは、すでに音楽の都に通じている?

「音楽会開催は準備と運営に大変でしょう?」「重い楽器運びは男手が必要で、みなさんのお力をお借りしてゴトゴトが売りものでやっています」  
「気を使うことは、事故が無いように、会員29名和気藹々、家族のようなお付き合いですから、ツーカーで心のふれあいを大切にしています。と、(うらやましい) 私たちのキャッチフレーズは「心に太陽を くらびるに歌を」

「私たちが愛おしが好きで、飯綱コーラスの、本性」見つけた、  
「頭と体に栄養を」  
「私たちが愛おしが好きで、飯綱コーラスの、本性」見つけた、

「音楽会開催は準備と運営に大変でしょう?」「重い楽器運びは男手が必要で、みなさんのお力をお借りしてゴトゴトが売りものでやっています」  
「気を使うことは、事故が無いように、会員29名和気藹々、家族のようなお付き合いですから、ツーカーで心のふれあいを大切にしています。と、(うらやましい) 私たちのキャッチフレーズは「心に太陽を くらびるに歌を」



人生の中で、この一番大切な葬儀をまかされて頂けることに、自信と誇りを感じます。(丸山)

当社スタッフ(担当者)のひとりごと  
生を受けていずれ亡くなる。そして次の世代へ受け継ぐ。その繰り返し。理屈では分っているが、いざとなるとその時は納得がいかない。悲しみにくれ、頭の中は真白になり何をすればよいかわからない。当社スタッフはその心情を受けとめて「ご遺族様喪主様の気持ちを心を込めて段取りを進めてゆく。裏方に徹して大切な方のお見送りを、また御会葬者に失礼のないように気を配りながら。式典の仕度は地域の慣習にも、お寺様の作法にも気を配りながら。大切なことは喪主様が心からどのようにお見送りをしたいかをいち早く察して、具現化していきます。

ご葬儀・ご法事のご用命は  
☎026-253-1377  
フリーダイヤル ☎0120-796-311  
アイセレモニー 飯綱ホール●五岳ホール  
ご不幸は無いはうがいい。でも、もしもの時、お役に立ちます。



明専寺(信濃町柏原)恒例毎月第2土曜日、一月十日「土曜学校」はお餅つきの始まりはじまり。重い杵にてこすりながら女の子、男の子たちが交代で頑張ってます。

雪国の詩(うた) ①



ボクたちわたしたちのお餅つき  
土曜学校  
浄土真宗本願寺派 明専寺



「お手伝いに来て下さる皆様のお力添えのお陰で私達も生かされています」と、月原秀宣、渡辺英晴さん。できたよ。仏さまに、食べられることに感謝して「いただきます」。



わたしキナコにしよう。ボクあんにしよう。と、もう大きいわき。みんなでつくと楽しいね。遊びを通して礼儀作法、人への思いやりが自然に身につく土曜学校です。

アイセレモニー葬祭専門ホールは、便利な国道18号沿いに2ヶ所ございます。

「冠婚葬祭」四大儀礼の中で一番大切で最も気遣いが必要な葬儀は、予期しない出来ごととして極めて不安内です。悲しみにくれる御遺族や喪主様の不安に応え、精神的にもバックアップし、支えていくのが当礼アイセレモニーに果せられた使命です。当礼は葬儀式専門のプロ集団として、すべてのご要望に



お応えして地域の皆様にも「低料金」で「奉仕」することを社是とし「安心」してまかせられる「お声を励みに日夜努めております」。

**信濃町・飯綱町の皆様へ**

もしもの時に「安心」ただけですように、2つの葬儀・法事専門ホールを設営してございます。お近くが便利です。どちらかをお選びにご利用いただけます。



**弊社マイクロバス**  
ご送迎のすべてを無料でご奉仕いたしておりますから、ご安心ください。

**通夜室完備当社だけ**  
住宅事情や車でお越しの弔問客のご不便など、ご自宅でお通夜の出来にくいことが多くなりました。アイセレモニー飯綱ホールでは通夜室を完備して、病院からお迎えして、またはご自宅から通夜室で、さらにご自宅へとさまざまにご利用いただけます。

さらにマイクロバスのご送迎は無料です。経費節減、安心安全です。

